



未来研
能勢

秋吉

議員

教育行政について

問 市の小中学校は、全て合併浄化槽か。

答 教育部長 大富小学校、大平小学校は、集落排水が整備されています。その他は、蓮沼小学校プール施設の単独浄化槽を除き、全て合併処理浄化槽です。

問 市の小中学校の洋式トイレ、和式トイレの設置状況はどうか。

答 教育部長 小中学校19校で820基のトイレがあり、うち和式は513基、洋式は307基で、洋式化率は37%です。

問 月に市教育大綱を策定し、教育行政を推進するため4つの目標を掲げ、各施策に取り組むと謳っているのを受け、学

問 市の平成27年9月に市教育大綱を策定し、教育行政を推進するため4つの目標を掲げ、各施策に取り組むと謳っているのを受け、学

問 市の平成27年9月に市教育大綱を策定し、教育行政を推進するため4つの目標を掲げ、各施策に取り組むと謳っているのを受け、学

びの場を多様に提供するとしている。具体的にどのように提供するのか。

答 教育長 タブレット等のICT機器を活用した学習活動、英語検定の受験料支援、英語力アップ講座及び異文化理解講座を全小中学校で展開しています。今後はアクティブ・ラーニングをさらに進め、充実させていきたいと思っています。

問 ニングのためには、まず文章や資料を読み解く力がないと難しいと思うがどうか。

答 教育長 市では、学習の基盤となる言語能力、情報活用能力の育成を目指し、国語科だけでなく全ての教科に

おいて、言語指導の充実に取り組んでいます。各教科を通して語彙力の強化を図ったり、レポート作成等により情報を整理・分析してまとめる力を身につけるようにすることで、文章や資料を読み解く読解力の向上を目指しているところです。

※アクティブ・ラーニングとは、教員が講義形式で一方的に教えるのではなく、学生たちが主体的に、仲間

と協力しながら課題を解決するような指導・学習方法の総称。グループワークやディスカッション、体験学習調査学習など。



ICTを活用した授業

一般行政について

問 後期基本計画は、現時点では全体的に達成度が低いと感じる。どのように検証したか。

答 市長 各施策における達成度は、現段階での評価点では、全体的に低い状況だと思っています。確実に施策を推進し、目標を達成するため、行政評価の仕組み（PDSサイクル）を活用し、計画・実施・評価を繰り返してまいります。

返し行い、継続的な改善に努めています。また、毎年、点検会を実施し、各事業がどれだけ施策や基本事業に貢献しているか等の分析・検討を行い、施策の掲げる目標値の達成に向けて、全庁的に努力をしています。

問 本計画は平成29年度で終了か。また、未達成部分には、どう対応していくのか。

答 総務部長 平成29年度が計画の最終年度になりますが、計画終了の次年度に市長選が予定されていることから、市長選の時期や市長の施政方針の反映を考慮した場合、次期総合計画の開始時期の整理とあわせ、現計画の扱いについても検討が必要だと考えています。

空港問題について

問 成田空港のさらなる機能強化案をテーマに、昨年10月29日から、住民説明会が開催されているが、機能強化案の構築の背景及び具体的な内容はどうか。

答 総務部長 成田空港は、LCCの大幅な増加等により現在の夜間発着枠が満杯であること、アジアの空港間競争の中でより利便性の高いダイヤの設定が求められていること、成田空港の年間30万回の発着枠に、早ければ2020年代に達すると予測されることから、発着枠を拡大し対応を図ろうとするものです。

農業行政について

問 シティセールスの一環として、月1回程度、駅ナカ販売を実施しているが、商品はどういうものがあるか。

答 経済環境部長 市の旬の野菜を中心とし、その他には市産の加工品等です。2月に開催したときは、23種類の野菜の他、太巻きずし等、合計で38品目ほどありました。

また、後期基本計画に掲げられている施策は、未達成部分も含めて各施策のあり方、目的、継続の必要性を十分に検討・分析した上で、次期総合計画の施策・基本事業等の設定を行い、計画を策定していきたいと考えています。